事務事業評価シート　（評価対象年度：令和2年度）

1.基本的事項 【PLAN】

①事務事業名	老人集会場維持管理事業													②事業番号	4513		
③事業類型	4. 施設等維持管理事業						④開始年度	昭和	54 年度	⑤終了予定年度		年度	○	設定なし			
⑥根拠法令等		法令	○	条例		規則	○	要綱		計画等		その他	法令等の名称	老人集会場設置並びに管理条例			
⑦実施手法	○	直営		全部委託	○	一部委託	○	補助・負担		その他							
⑧関連予算科目コード			款	3	項	1	目	11	細目	1・2							
⑨担当部名	健康福祉部		⑩担当課名	長寿社会推進課					会計	一般会計							

2. 事務事業の現状把握 【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 泉南市立老人集会場	① 施設数	箇所
②	②	

(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
老人集会場を拠点として、老人福祉の増進を図るため、各区に管理を委託し、修繕等に努める。	① 修繕件数	件
	②	
	③	

(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
各区に適正な管理を行っていただく。	① 修繕施設数	施設
	計算式	
	②	
	計算式	
	③	
	計算式	

(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け		
地域の福祉活動の拠点として、福祉の増進が図られる。	政策(章)	2	みんなが健やかで、みんなが助け合うまち
	施策大(節)	3	みんなで支えあう福祉のまちをめざします
	施策中	1	地域福祉の推進
	施策小	1	地域福祉活動の推進

〔2〕各種指標値、事業費の推移

		指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	
対象指標①		施設数	箇所	27	27	27	27	27	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②									
活動指標①		修繕件数	件	34	28	27	27	25	
活動指標②									
活動指標③									
成果指標①		修繕施設数	施設	27	27	27	27	15	―
成果指標②									
成果指標③									
事業費	投入人員	正職員	人	0.23	0.23	0.23	0.23		事業費などの推移における特殊要因などの説明
		任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
		臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	事業費	人件費(投入人員＊単価)	千円	1,865	1,774	1,755	1,755		
		直接事業費	千円	21,777	21,914	12,217	15,864		
		総事業費	千円	23,642	23,688	13,972	17,619		
財源内訳	国庫支出金		千円	0	0	0	0		その他特定財源については、水なす基金からの繰入金。
	府支出金		千円	0	0	0	0		
	受益者負担金		千円	3,506	1,378	1,208	1,338		
	その他特定財源		千円	0	2,000	0	0		
	一般財源		千円	20,136	20,310	12,764	16,281		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	老人福祉法に基づく老人集会場として補助金を頂き、地域の福祉拠点として整備され、維持管理を行うこととなった。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	平成25年度に避難所に指定されている老人集会場の耐震診断を実施し、年次的に実施設計、及び耐震工事を実施した。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	平成25年度に避難所に指定されている老人集会場の耐震診断を実施し、年次的に実施設計、及び耐震工事を実施している。

3. 事務事業の評価 【CHECK】

〔1〕目的妥当性（必要性）　A.高い　B.やや高い　C.やや低い　D.低い　〔1〕の評価：A

評価項目			評価及び理由・説明等
①事業サービス内容、質、規模等は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 （他団体と比較してどうですか。）	ア	ア．合っている イ．ある程度 ウ．いない	地域の中で互助の取組みの一端を担っており、地域の憩いの場として活用されている。

〔2〕有効性　A.高い　B.やや高い　C.やや低い　D.低い　〔2〕の評価：B

②期待どおりの成果が得られていますか。	イ	ア．得られている イ．ある程度 ウ．いない	使用にあたり老朽化が進み、雨漏り等使用に支障がでている。
③今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 （事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。）	ア	ア．ある イ．ない	施設の活用方法において、多方面からの活用等を検討することで、その利用料等の発生により少額であるが収入も見込めるようになる。
④庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	イ	ア．類似なし イ．できる ウ．できない	統括した市の施設管理部門が必要。

〔3〕効率性　A.高い　B.やや高い　C.やや低い　D.低い　〔3〕の評価：B

⑤成果を下げずに事業を工夫してコスト（直接事業費＋人件費）を削減する手法はありませんか。 （業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。）	ア	ア．ある イ．ない	老朽化に伴い公共施設のあり方、今後の活用について検討が必要である。

4. 総合評価

	評価（A～D）	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	
総合評価	C	個別施設計画により、老人集会場について今後の在り方を検討。	A：現状のまま事業を進めることが適当 B：課題が少しあり事業の一部見直しが必要 （事業の進め方に改善が必要） C：課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要 （事業規模、内容、実施主体の見直しが必要） D：事業の統合、休止・廃止の検討が必要

5. 改革、改善案 【ACTION】

＜今後の方向性＞

イ

ア．現状のまま継続　イ．見直しのうえで継続　ウ．終了（＿＿年まで）　エ．休止（＿＿年から）　オ．廃止（＿＿年から）

＜今後の展開方針＞

b
d

a. 重点化する（集中的なコスト投入）　b. 手段を改善する（実施主体や実施手段を変える）
c. 効率化する（コストを下げる）　d. 簡素化する（規模を縮小する）　e. 統合する（他の事務事業と統合する）

①改革、改善の具体案、実施年度など	老人集会場について、地区で有効活用できる方法を検討。
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	維持管理費、大規模改修の費用。